

東邦大学医療センター佐倉病院臨床研修プログラム

佐倉・必修科目

内科（6ヶ月）

1 目的と特徴GIO

臨床は、患者情報を問診・診察・検査からの確に収集し、鑑別診断を経て病気診断をすることに始まり、治療計画の立案とポイントを絞った経過観察が科学的根拠に基づき行えることが、基本である。この基本を呼吸器・免疫アレルギー疾患・代謝疾患・循環器疾患・消化器疾患・神経内科疾患を診ながら習得し、これらの過程から、患者を全身的に把握でき、十分なインフォームドコンセントの行える医師を育成する。

さらに、さまざまな病態に対する疑問点をおろそかにせず、丁寧に検証を積み重ねてゆく姿勢を身に付ける。

2 プログラム管理運営体制

東邦大学医療センター佐倉病院の卒後臨床研修管理委員会および内科卒後研修管理委員により本プログラムの管理、運営を検討する。プログラム内容や運営に問題が生じたときには合議の上で修正や変更を行い、必要に応じて指導医を対象とした会を開催して情報の伝達やアドバイスをを行う。

3 教育課程

3-1 研修期間と研修医配置予定

佐倉病院内において、前期(4-9月)または後期(10-3月)いずれかの6ヶ月間の研修を行う。

呼吸器・免疫・アレルギー/消化器/循環器/糖尿病・内分泌・代謝/神経内科の5グループの全てを、1ヶ月(最初のグループのみ2か月)ずつローテーションする。

3-2 到達目標

3-2-1 行動目標SBO

- 1) 患者の人格を尊重し、常に思いやりをもって接する
- 2) 患者面接から病気に関する情報を的確に抽出できる
- 3) 全身状態を系統的な問診・診察から把握できる
- 4) 鑑別診断を的確にあげながら、ケースプレゼンテーションが簡潔にできる
- 5) 治療立案と効果判定が適正にでき、副作用も念頭に入れた治療体系を学ぶ
- 6) コメディカルに明確に病態の説明ができ、医療実施に協力してもらえる職場環境づくりができる
- 7) セカンドオピニオン・カルテ開示に耐えられる診療記録の作成

3-2-2 経験目標SBO+LS

研修医手帳、内科必修項目に基づくものである。

3-2-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

厚生労働省研修履修項目を最低基準ラインとする。

3-2-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

厚生労働省研修履修項目を最低基準ラインとする。

3-2-2-C 特定医療現場の経験

週1回程度の夜間救急診療にあたる。

ここでは、一次から二次救急における初期治療を行う。

3-2-3 評価基準

すべて、5段階(A:優・B:良・C:可・D:不可・E:劣)で評価する。

3-3 勤務時間

厚生労働省の定める労働基準に準じて行われ、原則的に午前9時から午後5時とする。

ただし、症例検討会・講演会およびCPCの参加は必須であるが、それ以外の症例検討会等の参加は任意とし、時間外勤務にはあてないものとする。

3-4 教育行事

- 1) 教授/グループリーダー回診：毎週月曜日午後4時から6時まで内科系全病棟に関して行う。
担当患者に関するプレゼンテーションを行う。
- 2) 症例検討会：毎週月曜日午後6時から8時まで症例検討会などを行う。
担当症例に関する文献的考察をふまえた報告を行い、質疑応答に答える。
- 3) 病院CPC：隔月第4木曜日午後6時30分から8時までおこなわれる。
担当症例に関する文献的考察をふまえた報告を行い、質疑応答に答える。
担当以外でもこれに参加し、積極的に質疑応答に加わる。
- 4) 院内講演会：年に数回、外来講師を招聘して行われる。
内科関連のものは必ず参加する。
- 5) 救急カンファレンス：月～土7:30～。

3-5 指導体制

個々の研修医はマンツーマンで各グループ指導医がつき、指導医の管理下で入院・外来担当医と共に患者の診療にあたる。

また、指導責任者による面談により、軌道修正が行われる。

4 研修医個別評価

履修項目に関しては、担当指導者または担当医により適宜行われる。

最終クール(約2週間)に指導医による実地評価を行った後に、後期の主要病棟師長による行動評価、症例発表やレポート内容等による最終評価を教室責任者による面談により行う。

<循環器分野初期研修> (必修1から2ヶ月間)

指導医数 責任者を含め7名 レジデント2名

勤務時間：月～金曜日 9：00～17：00 土曜日 病棟業務終了で帰宅可

(救急カンファレンス7：30～ ICUカンファレンス8：00～)

週間予定

	月	火	水	木	金	土
午前	心リハ	心リハ	心臓カテ ーテル	病棟	心臓カテ ーテル	病棟
午後	回診 カンファ レンス	CPX 心電図	病棟	冠動脈 CT	病棟	

診療態勢

指導医 (レジデントも含む) と毎日報告・連絡・相談を行い、短期間で有意義な研修を行うこと。

指導医が不在・外来時はオンコール番に相談可。

教育

レクチャー：各循環器医より検査・治療などのレクチャーが行われる。

参加施設

本プログラムにおいては、東邦大学医療センター佐倉病院にて研修を行なう。下記施設で研修を行なう場合には十分な連携を図り研修を行う。東邦大学医療センター大森病院並びに同大橋病院の研修内容については東邦大学医療センター佐倉病院での研修に準じる。

[参加施設]

- ① 東邦大学医療センター大森病院
- ② 東邦大学医療センター大橋病院